Canon

Wi-Fiアダプター

W-E1

使用説明書

J

使用説明書

はじめに

Wi-Fiアダプター W-E1は、EOS 7D Mark II、EOS 5DS/EOS 5DS RのSDカードスロットに入れてWi-Fi（無線通信）機能を使用可能にするアクセサリーです。

W-E1で使用可能な無線通信機能は次のとおりです。

W-E1でできること

① **スマートフォンと通信**（p.21、53）

スマートフォンやタブレットに無線で接続して、専用アプリケーション「Camera Connect（カメラコネクト）」を使って次のことができます。

・スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧したり、閲覧した画像をスマートフォンに保存する

・スマートフォンでカメラを操作して静止画を撮影したり、カメラの設定を変更する

なお、本書およびカメラの液晶モニターに表示される画面では、スマートフォンとタブレットをあわせて「スマートフォン」と記載しています。

② **EOS Utilityでリモート操作**（p.27、59）

パソコンに無線で接続して、EOS用ソフトウェアのEOS Utilityを使ってカメラをリモート操作することができます。

- **W-E1に画像を記録することはできません。必ず、画像記録用のCFカードを用意してください。**
- 通信距離や通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、映像が滑らかに表示されなかったり、レリーズのタイミングが遅れたりすることがあります。
- W-E1を使用するために、誤った無線通信の設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、W-E1を使用した結果生じた損害に対しても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。
- 無線機能を使用する際には、お客様の責任と判断で必要なセキュリティーを設定してご使用ください。不正侵入等によって生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。

本使用説明書の表記について

- 本書は、Wi-Fiとキヤノン独自の無線機能を総称して「無線」または「無線LAN」と表記しています。
  また、無線LANの接続を中継する無線LAN端末（無線LANアクセスポイントまたは無線LANルーターなど）を、「アクセスポイント」と表記しています。
- カメラの操作については、カメラの使用説明書をお読みになり、操作方法を理解していることを前提に説明しています。
- 本文中の画面はEOS 7D Mark IIで説明しています。

本文中の絵文字について

〈 〉：メイン電子ダイヤルを示しています。

〈 〉：サブ電子ダイヤルを示しています。

〈 〉：マルチコントローラーを示しています。

〈SET〉：設定ボタンを示しています。

* その他、本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンや液晶モニターの表示など、カメラで使われている絵文字を使用しています。

（p.＊＊）：参照ページを示しています。

：使用する際に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。

：補足説明や補足事項を記載しています。

本書の構成

本書は『準備』『簡単接続』『高度な接続』『接続できたら』『資料』の5編で構成されています。

はじめに『準備』で接続の準備を行ったあとは、下記の図を参考に、必要なページを参照してください。

準備（p.9）
ニックネームの登録と基本的な操作方法について説明します。

↓

接続先を選ぶ
スマートフォン
EOS Utility

↓

簡単接続（p.19）
カメラと機器を直接接続する方法を説明します。

高度な接続（p.33）
主に、Wi-Fiのアクセスポイントを使用した接続方法を説明します。
スマートフォンやパソコンをアクセスポイントに接続したまま、カメラに接続できます。

↓

接続できたら（p.51）
接続したあとの画像の送信方法など、無線機能の使い方について説明します。

↓

資料（p.73）
トラブル時の対処法などを記載しています。必要に応じてお読みください。

目　次

はじめに 2

W-E1 でできること 2
本使用説明書の表記について 3
本書の構成 4
安全上のご注意 8
取り扱い上のご注意 8

準備 9

操作の流れ 10

1 準備と基本的な操作 11

W-E1 を使う準備をする 12
カメラに W-E1 を入れる 12
基本的な操作と設定 16
スマートフォンの事前準備 18

簡単接続 19

無線機能を使うまでの流れ（簡単接続） 20

2 スマートフォンと簡単接続 21

［**簡単接続**］で接続する 22

3 EOS Utility と簡単接続 27

［**簡単接続**］で接続する 28

高度な接続 33

無線機能を使うまでの流れ（高度な接続）.....34

4 ネットワークを選んで接続する 35

アクセスポイントの種類を確認する.....36
WPS（PBC 方式）で接続する場合.....37
WPS（PIN 方式）で接続する場合.....41
検出したネットワークに手動で接続する場合.....45

接続できたら 51

5 スマートフォンと通信 53

スマートフォンでカメラを操作する.....54
公開する画像を設定する.....56

6 EOS Utility でリモート操作 59

EOS Utility を使う.....60

7 再接続と設定の追加 63

再接続する.....64
複数の接続設定を登録するには.....66

8 接続設定の確認と操作 67

接続設定の確認／変更／削除.....68
Wi-Fi 機能の設定を初期化する.....71

資料 73

9 トラブルシューティング 75

エラー表示の対応 76
故障かな？と思ったら 84
無線機能での注意事項 85
セキュリティーについて 86
ネットワークの設定を確認する 87

10 資料 89

ネットワークを手動で設定する場合 90
IP アドレスを手動で設定する場合 92
主な仕様 94
索　引 96

安全上のご注意

下記注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。**故障、不具合、破損の際は、弊社の修理お問合せ専用窓口または、お買い上げ販売店にご連絡ください。**

⚠ 警告 下記の注意を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

- 飛行機内、病院で使用の際は、航空会社、病院の指示に従ってください。W-E1が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意 下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

- W-E1は、お子様や幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

取り扱い上のご注意

- 端子部分に指や金属が触れないようにしてください。また、ゴミや水などを付着させないでください。端子部分に汚れが付着すると、通信不良の原因になります。
- 長時間の動画撮影の直後など、カメラが高温の状態ではW-E1の無線機能が作動しないことがあります。カメラの温度が下がってから無線機能を使用してください。
- 無線機能を長時間使用すると、カメラ内部の発熱により、W-E1が高温となっていることがあります。W-E1を取り出すときは、カメラの電源スイッチを〈**OFF**〉にして、カメラの温度が下がるまでお待ちください。
- W-E1の破損を防ぐため、次の点に注意してください。
  - ・「落とさない」、「曲げない」、「強い力や衝撃、振動を加えない」、「濡らさない」。
  - ・表面にシールなどを貼らない。
  - ・テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものや、静電気の発生しやすいところで保管、使用しない。
  - ・直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しない。
  - ・ケースなどに入れて保管する。
  - ・温度の高いところ、ほこりや湿気の多いところに保管しない。

準備

操作の流れ

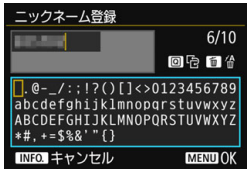
ここでは、ニックネーム（識別用の名称）の登録と無線機能の基本的な操作について説明しています。

以下の手順で操作を進めてください。

カメラにW-E1を入れる（p.12）

ニックネームを登録する（p.13）

カメラのニックネームを決めます。
初期設定のニックネーム（カメラ名）が使用できます。
ニックネームを設定しないと無線機能の設定ができませんので、必ず設定してください。



［Wi-Fi機能］画面を表示する
（p.16　手順1、2）

Wi-Fi機能を選んで接続します。
これ以降の設定は『簡単接続』または『高度な接続』を参照してください。

簡単接続（p.19）

カメラと機器を直接接続します。

高度な接続（p.33）

Wi-Fiのアクセスポイントを使用して接続します。

1

準備と基本的な操作

この章では、W-E1のWi-Fi機能を使用するときに必要な準備と、基本的な操作について説明しています。

W-E1を使う準備をする

はじめにご確認ください

- **W-E1に画像を記録することはできません。必ず、画像記録用のCFカードを用意してください。**
  CFカードを入れないと、電源を入れたときやシャッターを切ったときに、液晶モニターに［**記録できないカードです**］と表示されます。
- カメラのグリップを手で覆うと、無線通信の速度が低下したり、無線通信が切断されることがあります。
- 通信距離や通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、映像が滑らかに表示されなかったり、レリーズのタイミングが遅れたりすることがあります。

カメラのファームウェアのバージョンについて

- W-E1 をお使いになるときは、カメラのファームウェアが次のとおりであることを確認してください。
  EOS 7D Mark II　　：Ver. 1.1.0
  EOS 5DS/EOS 5DS R：Ver. 1.1.0
- 上記のファームウェアでは、カメラの起動時間が従来より約0.05秒長くなります。
- ファームウェアのバージョンの確認方法は、カメラのメニュー［**4：ファームウェア**］を参照してください。ファームウェアの変更が必要な場合は、キヤノンのホームページをご確認ください。
- **ファームウェアを変更するときは、W-E1をカメラから取り出してください。W-E1をカメラに入れた状態ではファームウェアを変更することはできません。**

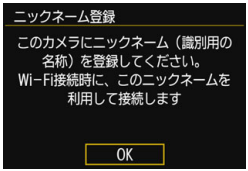
カメラにW-E1を入れる

カメラのSDカードスロット側にW-E1を、CFカードスロット側にCFカードを入れます。入れ方については、カメラの使用説明書を参照してください。

ニックネームを登録する

まずはじめに、カメラにW-E1を入れてニックネーム（識別用の名称）を付けます。

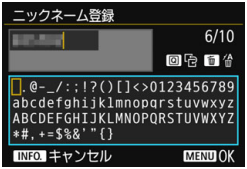
このニックネームは、無線で他の機器と接続するときに、接続先の機器で表示されます。**ニックネームを設定しないと無線機能の設定ができませんので、必ず設定してください。**



1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

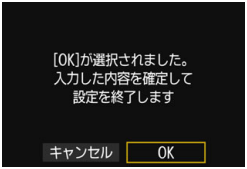
- 〈MENU〉ボタンを押して［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

➡ 初めて設定するときは、ニックネームの登録を促す画面が表示されます。〈SET〉を押して手順2に進んでください。



2 ニックネームを入力する

- 入力方法は、次ページを参照してください。
- 初期設定のニックネーム（カメラ名）を使用するときは手順3に進みます。
- 1～10字以内で、好きな文字を入力することもできます。

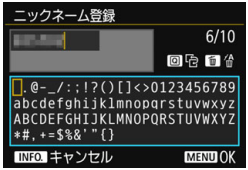


3 設定を終了する

- 入力が終わったら〈MENU〉ボタンを押します。
- 確認画面で［OK］を選んで〈SET〉を押すと、［Wi-Fi機能］画面が表示されます。接続するWi-Fi機器を選びます（p.16）。

ニックネームは、無線設定に必須な情報であるため、すべての文字を削除することはできません。

仮想キーボードの操作方法について



● 入力エリアの切り換え

〈Q〉ボタンを押すと、上下の入力エリアが交互に切り換わります。

● カーソルの移動

上側のエリアで〈◎〉または〈✥〉を操作すると、カーソルが移動します。

● 文字の入力

下側のエリアで〈◎〉または〈✥〉を操作して文字を選び、〈SET〉を押して文字を入力します。

画面右上の「*/*」で、入力した文字数と入力できる文字数を確認することができます。

● 文字の削除

〈🗑〉ボタンを押すと1文字消去されます。

● 入力の終了

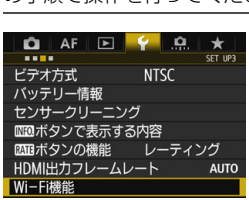
〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して終了します。確認画面が表示されたときは、[OK] を選んで終了します。

● 入力のキャンセル

〈INFO.〉ボタンを押すと、入力をキャンセルして終了します。確認画面が表示されたときは、[OK] を選んで終了します。

基本的な操作と設定

W-E1のWi-Fi機能を使うときの基本的な操作について説明します。以下の手順で操作を行ってください。



1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- 〈MENU〉ボタンを押して［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

2 接続するWi-Fi機能を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 接続設定が登録されていないときは、設定画面が表示されます。
- ➡ 接続設定が登録されているときは、再接続の画面が表示されます（p.64）。

- これ以降の接続設定は『簡単接続』（p.19）または『高度な接続』（p.33）を参照してください。

- 多重露出撮影設定時は、［3：Wi-Fi機能］を選択できません。

インターフェースケーブル接続時の注意事項

- カメラにW-E1が入っているときは、カメラとコネクトステーション、パソコン、ワイヤレスファイルトランスミッター、プリンターなどを、ケーブルで接続して使用することはできません。W-E1をカメラから取り出してからケーブルで接続してください。

カードについて

- ［□］では、カメラにCFカードが入っていないときは、無線で接続できません。

無線接続中の操作について

- 無線接続を優先するときは、電源スイッチやカードスロットカバー、電池室ふた、モードダイヤル、ライブビュー撮影／動画撮影スイッチなどを操作しないでください。無線接続が終了することがあります。

無線機能の接続状態について

カメラの液晶モニターで、無線機能の接続状態を確認することができます。

液晶モニター

クイック設定画面　　**再生時の情報表示画面**　　**ライブビュー時の画面**

通信状態	Wi-Fi機能	電波強度
未接続	OFF	（消灯）
接続中		
送信中	（←→）	
再接続待機中	（点滅）	
接続エラー	（点滅）	

* ［**簡単接続**］、［**カメラアクセスポイントモード**］で接続しているときは、 は表示されません。
* スマートフォンと接続すると、液晶モニターは消灯します。

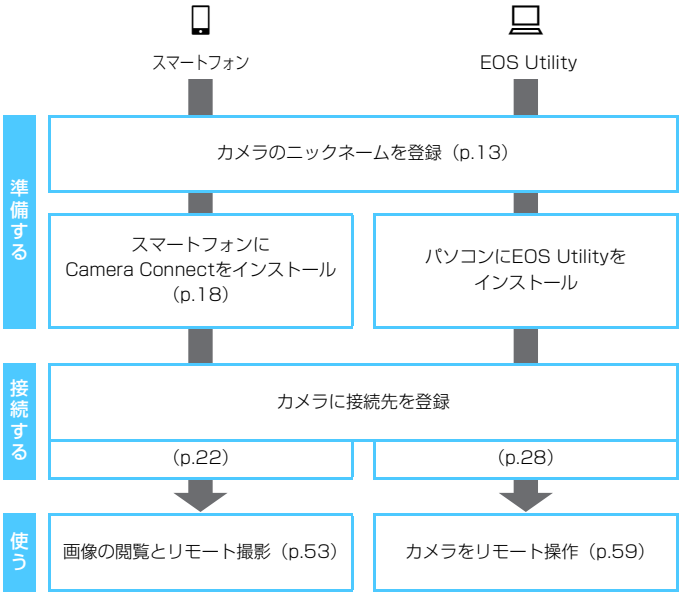
スマートフォンの事前準備

［▯］（スマートフォンと通信）を使用するためには、iOSまたはAndroidがインストールされたスマートフォンが必要です。また、スマートフォンに専用アプリケーションのCamera Connect（無料）をインストールする必要があります。

- Camera Connectは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードすることができます。
- Camera Connectが対応しているOSのバージョンについては、Camera Connectのダウンロードサイトでご確認ください。
- カメラやCamera Connectの画面表示と機能は、カメラのファームウェアアップデートやCamera Connect、iOS、Androidなどのバージョンアップにより変更される可能性があります。そのため、本書に記載している画面例や操作説明と異なる可能性があります。

簡単接続

無線機能を使うまでの流れ（簡単接続）



2

スマートフォンと簡単接続

スマートフォンと通信して、以下のことができます。

・ スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧したり、閲覧した画像をスマートフォンに保存する
・ スマートフォンでカメラを操作して静止画を撮影したり、カメラの設定を変更する

ここでは、カメラとスマートフォンを直接接続する方法について説明しています。

- あらかじめ、スマートフォンにCamera Connectをインストールしてから接続設定を行ってください（p.18）。
- Wi-Fiのアクセスポイントを使用して接続するときや、カメラアクセスポイントモードで手動接続するときは、『高度な接続』（p.33）を参照してください。

ライブビュー撮影／動画撮影スイッチが〈🎥〉のときはスマートフォンと接続できません。

[簡単接続] で接続する

カメラとスマートフォンを無線で直接接続します。

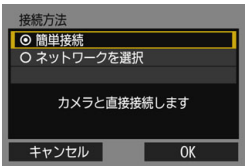
なお、接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。

カメラ側の操作-1

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi機能] を選び、〈SET〉を押します。

2 [ ] (スマートフォンと通信) を選ぶ

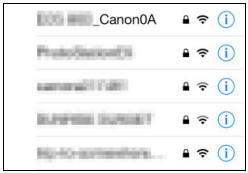


3 [簡単接続] を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

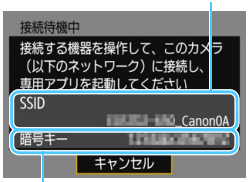
スマートフォン側の操作

スマートフォンの画面例



カメラの画面

SSID（ネットワーク名）



暗号キー（パスワード）

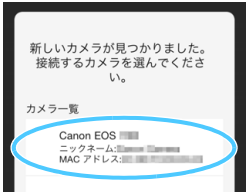
4 スマートフォンを操作してカメラに接続する

- スマートフォンのWi-Fi機能をONにして、カメラの液晶モニターに表示されているSSID（ネットワーク名）を選びます。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示されている暗号キーを入力します。

［簡単接続］を選んで接続するときのSSIDは、末尾に「_Canon0A」と表示されます。

5 スマートフォンのCamera Connectを起動する

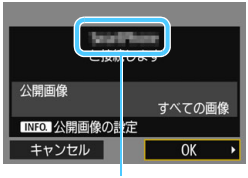
- カメラの液晶モニターに［**接続待機中**］の画面が表示されたら、スマートフォンのCamera Connectを起動します。



6 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

- Camera Connectの［**カメラ一覧**］から、接続するカメラを選んでタッチします。

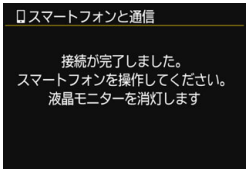
カメラ側の操作-2



Camera Connectで設定しているデバイスの名前

7 カメラを接続する

- 接続すると、カメラの液晶モニターに左の画面が表示されます。
- 公開する画像を設定するときは、〈**INFO.**〉ボタンを押します。57ページの手順5を参照して設定してください。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押します。



➡ メッセージが表示されたあと、カメラの液晶モニターが消灯します。また、表示パネルの表示も消えて、カメラのボタンやダイヤルなどが使用できなくなります。

➡ スマートフォンに、Camera Connectのメイン画面が表示されます。

これでスマートフォンとの接続設定は完了です。
接続したあとの操作については、53ページを参照してください。

- デバイスの名前は、Camera Connectの設定画面で確認、変更できます。
- 接続中は、カメラのオートパワーオフ機能は働きません。

MEMO

3

EOS Utility と簡単接続

ここでは、カメラとパソコンを直接接続する方法について説明しています。

- あらかじめ、パソコンにEOS Utilityをインストールしてから接続設定を行ってください。
- Wi-Fiのアクセスポイントを使用して接続するときや、カメラアクセスポイントモードで手動接続するときは、『高度な接続』（p.33）を参照してください。

古いバージョンのソフトウェアでは設定できない場合があります。このカメラに対応したEOS Utilityをインストールしてください。

[簡単接続] で接続する

カメラとパソコンを無線で直接接続します。

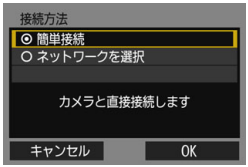
- 接続するためにはパソコンの操作が必要です。詳しくは、パソコンの使用説明書を参照してください。
- ここでは、Windows 8.1の場合を例にして説明しています。

カメラ側の操作-1

1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [3] タブの [Wi-Fi機能] を選び、〈SET〉を押します。

2 [ ] (EOS Utilityでリモート操作) を選ぶ



3 [簡単接続] を選ぶ

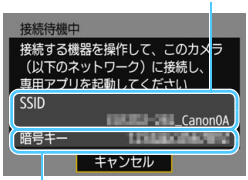
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

パソコン側の操作-1

パソコンの画面例

カメラの画面

SSID（ネットワーク名）



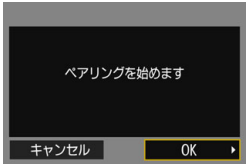
暗号キー（パスワード）

4 パソコンを操作してカメラに接続する

- お使いのパソコンの無線に関する設定から、カメラの液晶モニターに表示されているSSID（ネットワーク名）を選びます。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示されている暗号キーを入力します。

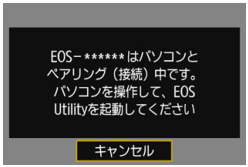
［簡単接続］を選んで接続するときのSSIDは、末尾に「_Canon0A」と表示されます。

カメラ側の操作-2



5 ［OK］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、下記のメッセージ画面が表示されます。なお、「******」は、W-E1のMACアドレス下6桁です。



パソコン側の操作-2

6 パソコンでEOS Utilityを起動する

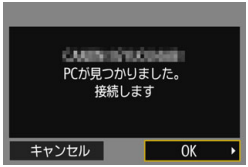
7 EOS Utilityの［Wi-Fi/LAN接続ペアリング］をクリックする

- ファイアウォールに関するメッセージが表示されたときは、［はい］を選びます。

8 ［接続］をクリックする

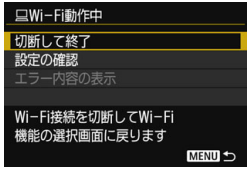
- 接続するカメラを選択して、［接続］をクリックします。

カメラ側の操作-3



9 カメラを接続する

- 手順８で［**接続**］操作をしたパソコンが見つかると、左の画面が表示されます。
- ［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、［**Wi-Fi動作中**］画面が表示されます。



- 〈**MENU**〉ボタンを押すと、メニューに戻ります。

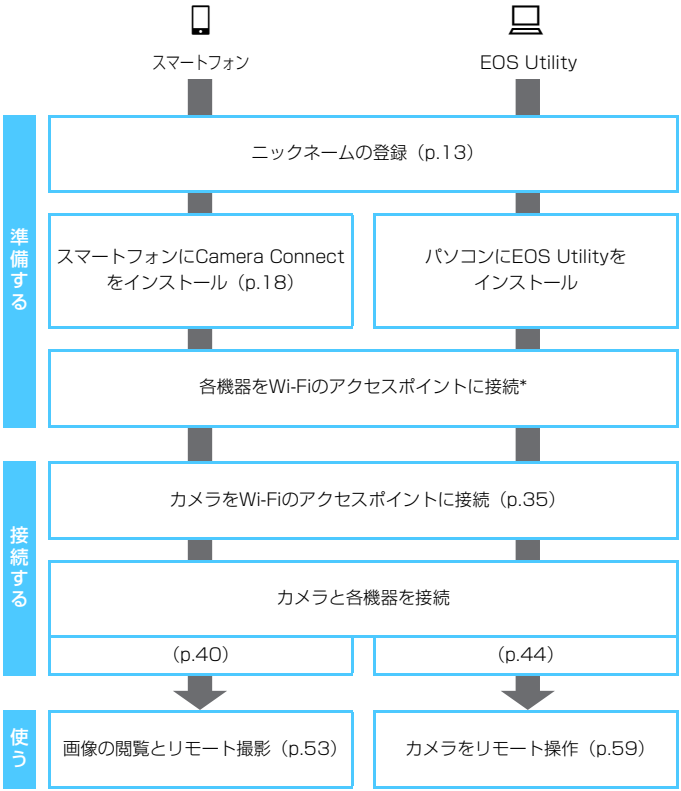
これでEOS Utilityとの接続設定は完了です。
接続したあとの操作については、59ページを参照してください。

- 一度ペアリングを行った「カメラとパソコンの組み合わせ」で、設定を変えずに使い続ける場合、次回からはペアリングを行う必要はありません。

MEMO

高度な接続

無線機能を使うまでの流れ（高度な接続）



* スマートフォンなどの各機器が、Wi-Fiのアクセスポイントに接続されていることを前提に説明します。

* ［**カメラアクセスポイントモード**］での接続については、50ページを参照してください。

4

ネットワークを選んで接続する

ここでは、主にWi-Fiのアクセスポイントを利用した接続方法について説明しています。Wi-Fiのアクセスポイントを利用すると、下記のWi-Fi機能を使用することができます。

・ スマートフォンと通信
・ EOS Utilityでリモート操作

アクセスポイントの種類を確認する

はじめに、お使いのアクセスポイントが、Wi-Fi機器同士を簡単に接続することができるWPS*に対応しているか確認してください。

お使いのアクセスポイントがWPSに対応しているか分からないときは、アクセスポイントの使用説明書などを参照して確認してください。

* Wi-Fi Protected Setup（ワイファイ プロテクテッド セットアップ）の略

● **WPSに対応している場合**

下記の2種類の接続方法が選択できます。WPS（PBC方式）の方が簡単に接続できます。

- WPS（PBC方式）で接続する場合：p.37からの操作を行ってください。
- WPS（PIN方式）で接続する場合：p.41からの操作を行ってください。

● **WPSに対応していない場合**

- 検出したネットワークに手動で接続する場合：p.45からの操作を行ってください。

アクセスポイントの暗号化について

このカメラは、下記の［**認証方式**］と［**暗号化の設定**］に対応しています。そのため、検出したネットワークに手動で接続する場合は、アクセスポイントの暗号化は、下記のいずれかの設定になっている必要があります。

● ［**認証方式**］：オープン、共有キー、WPA/WPA2-PSK
● ［**暗号化の設定**］：WEP、TKIP、AES

● **アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、接続できない場合があります。ステルス機能を無効にしてください。**
● ネットワーク管理者がいるネットワークに接続するときは、ネットワーク管理者に設定の詳細をお問い合わせください。

お使いのネットワークでMACアドレスのフィルタリングをしているときは、アクセスポイントにW-E1のMACアドレスを登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.72）で確認できます。

WPS（PBC方式）で接続する場合

WPSに対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PBC方式（プッシュボタン接続方式）では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。

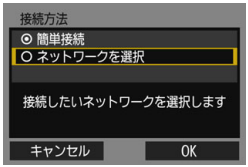
- 周囲に複数のアクセスポイントが稼動していると、うまく接続できないことがあります。このような場合は、［**WPS（PIN方式）**］で接続してください。
- アクセスポイントに付いているWPS用ボタンの場所を、あらかじめ確認しておいてください。
- 接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

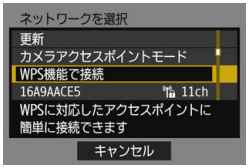
2 項目を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。

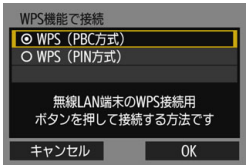


3 ［ネットワークを選択］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

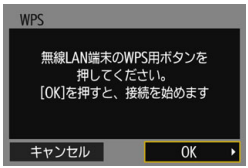


4 ［WPS機能で接続］を選ぶ



5 ［WPS（PBC方式）］を選ぶ

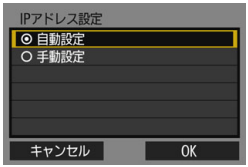
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



6 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントのWPS用ボタンを押します。ボタンの場所とボタンを押す時間は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➡ アクセスポイントとの接続が完了すると次の画面に進みます。

手順4で表示される［**カメラアクセスポイントモード**］については、50ページを参照してください。



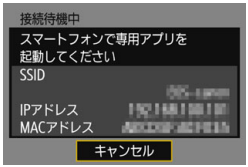
7 ［自動設定］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、手順2で選んだWi-Fi機能に応じた設定画面が表示されます（p.40）。
- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、92ページを参照してください。

IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

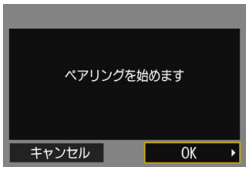
Wi-Fi機能に応じた設定を行う

ここからは、Wi-Fi機能に応じた設定画面になります。選択したWi-Fi機能の説明ページをお読みください。



スマートフォンと通信

➡ 24ページ　手順6



EOS Utilityでリモート操作

➡ 30ページ　手順6

WPS（PIN方式）で接続する場合

WPSに対応したアクセスポイント使用時の接続方法です。PIN方式（ピンコード接続方式）では、カメラが指定する8桁の識別番号をアクセスポイントに設定して接続します。

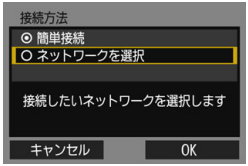
- 周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、共通の識別番号で比較的確実に接続することができます。
- 接続開始から完了まで1分程度かかる場合があります。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

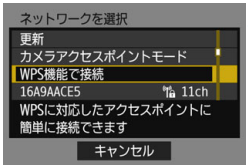
2 項目を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。

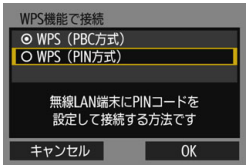


3 ［ネットワークを選択］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

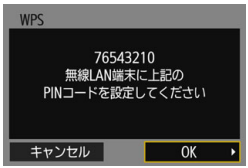


4 ［WPS機能で接続］を選ぶ



5 ［WPS（PIN方式）］を選ぶ

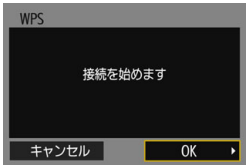
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



6 アクセスポイントにPINコードを設定する

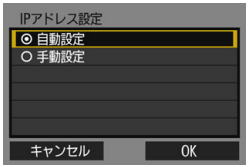
- カメラの液晶モニターに表示される8桁のPINコードを、アクセスポイントに設定します。
- アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- PIN コードを設定したら［OK］を選び、〈SET〉を押します。

手順4で表示される［**カメラアクセスポイントモード**］については、50ページを参照してください。



7 アクセスポイントに接続する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、アクセスポイントとの接続を開始します。
- ➡ アクセスポイントとの接続が完了すると次の画面に進みます。



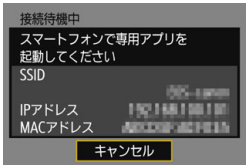
8 ［自動設定］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、手順2で選んだWi-Fi機能に応じた設定画面が表示されます（p.44）。
- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、92ページを参照してください。

IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

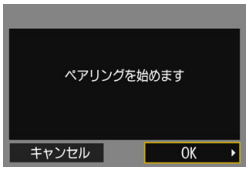
Wi-Fi機能に応じた設定を行う

ここからは、Wi-Fi機能に応じた設定画面になります。選択したWi-Fi機能の説明ページをお読みください。



スマートフォンと通信

➡ 24ページ　手順6



EOS Utilityでリモート操作

➡ 30ページ　手順6

検出したネットワークに手動で接続する場合

近くで稼動中のアクセスポイントの一覧から、接続するアクセスポイントのSSID（またはESS-ID）を選んで接続します。

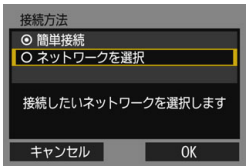
アクセスポイントを選ぶ

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

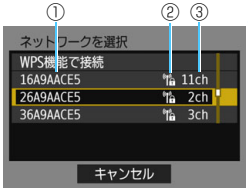
2 項目を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。



3 ［ネットワークを選択］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



4 アクセスポイントを選ぶ

- 〈⊕〉を操作して、アクセスポイントの一覧から、接続するアクセスポイントを選びます。

①SSIDを表示
②アクセスポイントが暗号化されているときはアイコンを表示
③使用しているチャンネルを表示

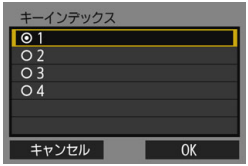
［更新］と［手動設定］について

- ［**更新**］や［**手動設定**］は、手順4の画面をスクロールすると表示されます。
- ［**更新**］を選ぶと、アクセスポイントを再検索します。
- ［**手動設定**］を選ぶと、手動でアクセスポイントに関する設定を行うことができます。仮想キーボードでSSIDを入力してから、表示される内容に従って設定してください。

手順4で表示される［**カメラアクセスポイントモード**］については、50ページを参照してください。

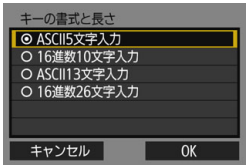
アクセスポイントの暗号キーを入力する

- アクセスポイントに設定されている暗号キー（パスワード）を入力します。設定されている暗号キーについては、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- 下記の手順5～7で表示される画面は、アクセスポイントに設定されている認証方式と暗号方式によって異なります。
- 手順5～7が表示されずに、［**IPアドレス設定**］画面が表示されたときは、手順8に進んでください。



5 キーインデックスを選ぶ

- ［**キーインデックス**］の画面は、アクセスポイントの暗号方式がWEPのときに表示されます。
- アクセスポイントに設定されているキーインデックスの番号を選び、〈SET〉を押します。
- ［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



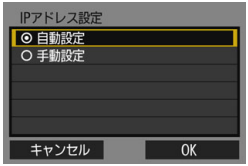
6 キーの書式と長さを選ぶ

- ［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

7 暗号キーを入力する

- 仮想キーボード（p.15）で暗号キーを入力し、〈**MENU**〉ボタンを押します。
- ➡ ［**IPアドレス設定**］画面（p.48）が表示されます。

IPアドレスを設定する



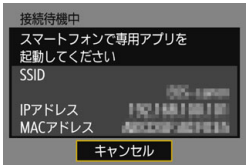
8 ［自動設定］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、手順2で選んだWi-Fi機能に応じた設定画面が表示されます（p.49）。
- ［**自動設定**］でエラーが表示されたときや手動で設定するときは、92ページを参照してください。

IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

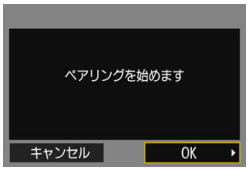
Wi-Fi機能に応じた設定を行う

ここからは、Wi-Fi機能に応じた設定画面になります。選択したWi-Fi機能の説明ページをお読みください。



スマートフォンと通信

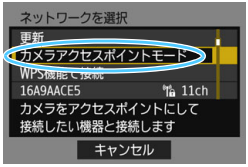
➡ 24ページ　手順6



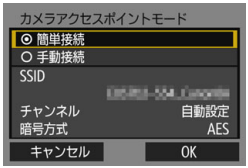
EOS Utilityでリモート操作

➡ 30ページ　手順6

カメラアクセスポイントモードについて



カメラアクセスポイントモードは、カメラと各機器を直接接続する接続方法です。



カメラアクセスポイントモードでは、以下の2種類の接続方法が選択できます。

- ［**簡単接続**］：『かんたん接続』（p.19）を参照して接続してください。
- ［**手動接続**］：90ページを参照して接続してください。

接続できたら

ここでは、接続したあとの使い方について説明しています。
やりたいことに応じて、以下のページを参照してください。

- **スマートフォンと通信**
  スマートフォンでカメラを操作する p.54
  公開する画像を設定する p.56
- **EOS Utilityでリモート操作**
  EOS Utilityを使う p.60
- **再接続と設定の追加**
  再接続する p.64
  複数の接続設定を登録するには p.66
- **接続設定の確認と操作**
  接続設定の確認／変更／削除 p.68
  Wi-Fi機能の設定を初期化する p.71

5

スマートフォンと通信

スマートフォンと通信して、以下のことができます。

- スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧したり、閲覧した画像をスマートフォンに保存する
- スマートフォンでカメラを操作して撮影したり、カメラの設定を変更する

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンにインストールしたCamera Connectを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などを行うことができます。

Camera Connectのメイン画面

Camera Connectでは、主に下記の操作を行うことができます。操作方法は、Camera Connectの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内の画像一覧]

- カメラ内の画像を閲覧することができます。
- スマートフォンにカメラ内の画像を保存することができます。
- カメラ内の画像に対し、消去などの操作を行うことができます。

[リモート撮影]

- カメラのライブビュー映像を、スマートフォンで見ることができます。
- リモート操作で撮影することができます。

[カメラ設定]

- カメラの設定を変更することができます。

✿（設定ボタン）

- Camera Connectの各種設定を行うことができます。

接続を終了する

接続を終了するときは、下記の操作を行ってください。

- スマートフォンのCamera Connect画面で［(((x))］をタッチする
- カメラの電源を〈**OFF**〉にする

- 接続中は、カメラのシャッターボタンを押しても撮影できません。
- 接続中は、動画撮影ができません。
- リモート撮影では、AF速度が遅くなることがあります。
- 通信距離や通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、映像が滑らかに表示されなかったり、レリーズのタイミングが遅れたりすることがあります。

- ライブビュー撮影／動画撮影スイッチを操作したときや、モードダイヤルを回したとき、カードスロットカバーや電池室ふたを開けたときも、接続を終了します。
- RAW画像をスマートフォンに保存するときは、JPEG画像が保存されます。
- 接続中は、カメラのオートパワーオフ機能は働きません。
- 接続中は、スマートフォンの節電機能をOFFにしておくことをおすすめします。

公開する画像を設定する

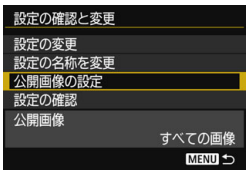
カメラ側の操作で、スマートフォンに公開する画像を設定することができます。**接続設定中、または接続を終了してから設定します。**

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

2 ［］を選ぶ

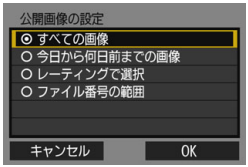
3 ［設定の確認と変更］を選ぶ



4 ［公開画像の設定］を選ぶ

［**公開画像の設定**］で［**すべての画像**］以外を設定しているときは、リモート撮影はできません。

再接続するときは、接続する前に公開画像の設定を確認してください。



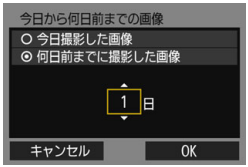
5 項目を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

［すべての画像］

カード内のすべての画像を公開します。

［今日から何日前までの画像］



撮影日で公開する画像を指定します。最大で9日前までの画像を指定できます。

- 項目を選び、〈SET〉を押します。
- ［**何日前までに撮影した画像**］のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。日数が〈⊕〉の状態で〈✥〉を操作して日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

［レーティングで選択］

レーティングを付加した画像（または付加していない画像）やレーティングの種類で公開する画像を指定します。

- レーティングの種類を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

[ファイル番号の範囲]（範囲で指定）

ファイル番号順に並んだ画像の開始と終了の画像を選んで、公開する画像を指定します。

1 〈◎〉または〈✥〉を操作してファイルの始点を選びます。
2 〈SET〉を押して、画像の選択画面を表示します。
〈◎〉を操作して画像を選びます。
〈Q〉ボタンを押して〈⊞〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶことができます。
3 画像を選び、〈SET〉を押して決定します。
4 同様の操作で、ファイルの終点を設定します。
始点に選んだ画像よりも、あとに撮影した画像を選びます。
5 始点と終点の設定が終わったら［OK］を選び、〈SET〉を押します。

6

EOS Utility で リモート操作

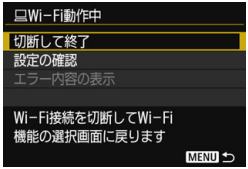
EOS Utilityで行うリモート操作を、無線で行うことができます。インターフェースケーブルの代わりに無線通信を利用する仕組みなので、リモート撮影だけでなく、さまざまなカメラ操作が可能です。

EOS Utilityを使う

EOS Utilityの操作方法については、EOS Utility使用説明書を参照してください。リモート撮影だけでなく、さまざまなカメラ操作が可能です。

EOS Utility使用説明書の入手方法は、カメラ使用説明書でご確認ください。

接続を終了する



［Wi-Fi動作中］画面で［切断して終了］を選ぶ

- ［Wi-Fi動作中］画面が表示されていないときは、［3］タブの［Wi-Fi機能］を選びます。
- ［切断して終了］を選び、確認画面で［OK］を選ぶと、接続を終了します。

- 接続中は、動画撮影を行うことはできません。
- 接続中は、以下の操作を行うことはできません。
  多重露出／インターバルタイマー／RAW現像／リサイズ／動画編集／カメラ操作による画像転送／トリミング（EOS 5DS/EOS 5DS R）
- リモート撮影では、AF速度が遅くなることがあります。
- 通信距離や通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、映像が滑らかに表示されなかったり、レリーズのタイミングが遅れたりすることがあります。
- リモートライブビュー撮影では、インターフェースケーブルでの接続時よりも通信速度が遅くなるため、動きのある被写体を滑らかに表示することはできません。
- 接続中は電池を消耗します。長時間無線通信機能を使用しないときは、接続を終了させてください。

- カメラの電源を〈OFF〉にしたときや、カードスロットカバーや電池室ふたを開けたときも、無線接続を終了します。
- 接続の途中でカメラのオートパワーオフ機能が働いたときは、接続を終了します。必要に応じて、［2：オートパワーオフ］を［しない］に設定してください。続けてEOS Utilityを使用するときは、再接続の操作を行ってください（p.64）。

MEMO

7

再接続と設定の追加

ここでは、接続設定を行った機器と再接続する方法や、複数の接続設定を登録する方法について説明しています。

再接続する

接続設定を登録したWi-Fi機能に再度接続します。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

2 接続するWi-Fi機能を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。

3 ［接続］を選ぶ

- 接続先の設定が複数登録されているときは、［**設定の選択**］を選び、接続先を選んでから接続します。
- 確認画面で［OK］を選びます。

4 接続先の機器を操作する

スマートフォンの場合

- スマートフォンのWi-Fi機能をONにして、Camera Connectを起動してください。
- スマートフォンの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに接続するように設定し直してください。

EOS Utilityの場合

- パソコンでEOS Utilityを起動してください
- パソコンの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに接続するように設定し直してください。

- 再接続時に、接続先のSSIDが分からないときは、手順3の画面で［**設定の確認と変更**］→［**設定の確認**］の順に選ぶと確認することができます（p.69）。
- ［**簡単接続**］を選んで接続するときのSSIDは、末尾に「_CanonOA」と表示されます。

複数の接続設定を登録するには

各Wi-Fi機能ごとに、接続設定を3つまで登録することができます。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

2 接続するWi-Fi機能を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。

3 ［設定の選択］を選ぶ

4 ［SET* (未設定)］を選ぶ

➡ 接続の設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、接続設定を行ってください。

設定を削除するときは、70ページを参照してください。

8

接続設定の確認と操作

ここでは接続設定の確認や変更、設定の削除、無線機能の初期化などについて説明しています。

接続設定の確認／変更／削除

カメラに保存されている接続設定の確認や変更、削除を行います。設定の変更と削除は、接続を終了してから操作します。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

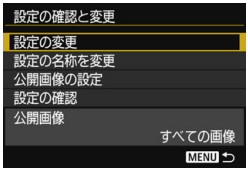
- ［3］タブの［**Wi-Fi機能**］を選び、〈SET〉を押します。

2 設定を確認する項目を選ぶ

- 〈◎〉または〈✥〉を操作して項目を選び、〈SET〉を押します。
- 設定が保存されていない項目を選んだときは、接続の設定画面が表示されます。

3 ［設定の確認と変更］を選ぶ

- ［**設定の選択**］で接続先を選んでから［**設定の確認と変更**］を選び、〈SET〉を押します。



4 設定の確認や変更を行う

- 項目を選んで〈SET〉を押し、表示される画面で設定の確認や変更を行います。

[設定の変更]

設定内容を変更します。[**設定の変更**] を選ぶと、接続設定画面が表示されます。表示される画面にしたがって、もう一度接続設定を行ってください。

[設定の名称を変更]

設定の名称を変更します。[**設定の名称を変更**] を選び、仮想キーボード（p.15）で設定の名称を入力します。

[公開画像の設定] （p.56）

[▯]（スマートフォンと通信）を選んだときに表示されます。設定した内容が画面の下側に表示されます。

[設定の確認]

設定内容を確認します。[**設定の確認**] を選ぶと、設定内容が表示されます。

設定を削除する

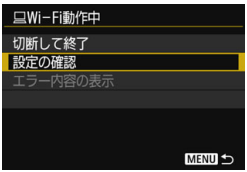
下の画面で［**設定の削除**］を選ぶと、カメラに保存されている接続設定を削除することができます。

1 ［設定の削除］を選ぶ

2 削除する設定を選ぶ

- 確認画面で［OK］を選ぶと設定が削除されます。

接続中の場合



無線接続中に［**Wi-Fi動作中**］画面が表示されているときは、［**設定の確認**］を選ぶと設定の内容を確認することができます。

Wi-Fi機能の設定を初期化する

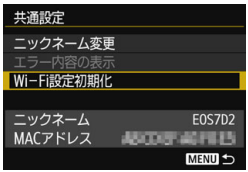
Wi-Fi機能の設定をすべて削除します。W-E1を貸与したり譲渡したときに、Wi-Fi機能の設定が流出することを防ぐことができます。

1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。

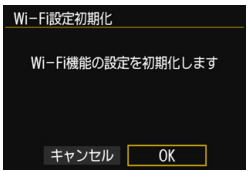
2 〈INFO.〉ボタンを押す

➡ ［共通設定］画面が表示されます。



3 ［Wi-Fi設定初期化］を選ぶ

- ［Wi-Fi 設定初期化］を選び、〈SET〉を押します。



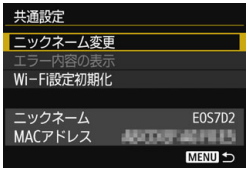
4 ［OK］を選ぶ

➡ Wi-Fi 設定が初期化され、メニュー画面に戻ります。

［4：カメラ設定初期化］を行っても、［Wi-Fi機能］の設定は初期化されません。

共通設定画面について

前ページの手順3で表示される［**共通設定**］画面では、無線LAN設定の変更や確認を行うことができます。



［ニックネーム変更］

ニックネームを変更します。［**ニックネーム変更**］を選び、仮想キーボード（p.15）でニックネームを入力します。

［エラー内容の表示］

接続エラー発生時に選択することができます。［**エラー内容の表示**］を選ぶと、接続エラーの内容が確認できます（p.76）。

［Wi-Fi設定初期化］（p.71）

無線LANの設定をすべて削除します。

［ニックネーム］

カメラに設定されているニックネームを確認することができます。

［MACアドレス］

カメラのMACアドレスを確認することができます。

ニックネームはWi-Fi設定に必要な情報なので、［**ニックネーム変更**］では、すべての文字を削除できません。

資料

MEMO

9

トラブルシューティング

エラー表示の対応

接続エラーが発生したときは、下記のいずれかの方法でエラー内容を表示してください。その後、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。

- ［**共通設定**］画面で［**エラー内容の表示**］を選んで〈SET〉を押す（p.72）。
- ［**Wi-Fi動作中**］画面で［**エラー内容の表示**］を選んで〈SET〉を押す。

下記のエラー番号のページをクリックすると該当ページにジャンプします。

11 (p.77)	12 (p.77)			
21 (p.78)	23 (p.79)			
61 (p.80)	63 (p.81)	64 (p.81)	65 (p.82)	66 (p.82)
67 (p.82)	68 (p.83)	69 (p.83)		
91 (p.83)				

エラーが発生したときは、［**エラー内容の表示**］画面の右上に［Err**］と表示されます。カメラの電源を〈**OFF**〉にすると表示されなくなります。

11： 接続先が見つかりません

- **［📱］の場合、Camera Connectは起動していますか？**

➡ Camera Connectから接続操作を行ってください（p.24）。

- **［💻］の場合、EOS Utilityは起動していますか？**

➡ EOS Utilityを起動して、再度接続操作を行ってください（p.29）。

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？**

➡ 暗号化の認証方式が［**オープン**］の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。
大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください（p.47）。

12： 接続先が見つかりません

- **接続先の機器とアクセスポイントの電源は入っていますか？**

➡ 接続先の機器とアクセスポイントの電源を入れて、しばらくお待ちください。それでも接続できないときは、再度接続操作を行ってください。

- **接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラとの距離が離れ過ぎていませんか？**

➡ 接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラとの距離を短くしてください。

21： DHCP サーバーからアドレスが割り当てられていません

カメラの確認内容

- **カメラの設定がIPアドレス［自動設定］になっています。この設定で間違いありませんか?**
- ➡ DHCPサーバーを使用していない場合は、カメラをIPアドレス［**手動設定**］にして設定を行ってください（p.92）。

DHCPサーバーの確認内容

- **DHCPサーバーの電源は入っていますか？**
- ➡ DHCPサーバーの電源を入れてください。
- **DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか？**
- ➡ DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。
- ➡ DHCP サーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。
- **DHCPサーバーは正常に機能していますか？**
- ➡ DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
- ➡ ネットワーク管理者がいるときは、DHCP サーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

23： ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が存在します

カメラの確認内容

- **カメラと同じネットワークに接続している機器が、カメラと同じ IP アドレスを使用していませんか？**

➡ カメラの IP アドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないようにしてください。または、IPアドレスが重複している他の機器のIPアドレスを変更してください。

➡ DHCPサーバーを使用するネットワーク環境で、カメラがIPアドレス［**手動設定**］の設定になっているときは、IPアドレス［**自動設定**］の設定にしてください（p.48）。

エラー 20番台の対応について

エラー 21～23が表示された場合は、下記の確認も行ってください。

カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？

➡ 暗号化の認証方式が［**オープン**］の設定で、暗号キーを間違えるとこのエラーになります。大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください（p.47）。

61： 同じ SSID の無線 LAN ネットワークがみつかりません

- **アクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？**
- ➡ アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動してください（p.85）。
- **アクセスポイントのアンテナとカメラとの距離が離れ過ぎていませんか？**
- ➡ アクセスポイントのアンテナとカメラとの距離を短くしてください。

カメラの確認内容

- **カメラにアクセスポイントと同じSSIDを設定していますか？**
- ➡ アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDをカメラに設定してください（p.46）。

アクセスポイントの確認内容

- **アクセスポイントの電源は入っていますか？**
- ➡ アクセスポイントの電源を入れてください。
- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**
- ➡ 使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.72）で確認できます。

63： 無線 LAN の認証に失敗しました

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証方式を設定していますか？**

➡ カメラで設定できる認証方式は、［**オープン**］、［**共有キー**］、［WPA/WPA2-PSK］です（p.36）。

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？**

➡ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください（p.47）。

- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**

➡ 使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.72）で確認できます。

64： 無線 LAN 端末に接続できません

- **カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？**

➡ カメラで設定できる暗号化方式は、WEP、TKIP、AESです（p.36）。

- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**

➡ 使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.72）で確認できます。

65： 無線 LAN の接続が切れました

- **接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラの間に、見通しをさえぎる障害物はありませんか？**

➡ アクセスポイントのアンテナを、カメラからよく見える場所に移動させてください（p.85）。

- **接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラとの距離が離れ過ぎていませんか？**

➡ 接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラとの距離を短くしてください。

- **何らかの理由で、無線接続が切れ、再接続できない状態になっています。**

➡ アクセスポイントにほかの機器からのアクセスが集中している場合や、電子レンジなどが近くで使用されている場合（IEEE 802.11b/g/n（2.4GHz帯））、雨天や高湿度などの影響が考えられます（p.85）。

66： 無線 LAN の暗号キーが違います

- **カメラとアクセスポイントで、同じ認証用の暗号キーを設定していますか？**

➡ 大文字、小文字の使い分けも確認して、正しい認証用の暗号キーをカメラに設定してください（p.47）。

67： 無線 LAN の暗号方式が違います

- **カメラとアクセスポイントで、同じ暗号化方式を設定していますか？**

➡ カメラで設定できる暗号化方式は、WEP、TKIP、AESです（p.36）。

- **MACアドレスでフィルタリングしている場合、使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録していますか？**

➡ 使用しているW-E1のMACアドレスをアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは［**共通設定**］画面（p.72）で確認できます。

68： 無線 LAN 端末に接続できませんでした。始めからやり直してください。

- **アクセスポイントのWPS（Wi-Fi Protected Setup）ボタンは、アクセスポイントで指示されている時間押しつづけましたか？**

➡ WPSボタンをアクセスポイントの使用説明書で指示されている時間押しつづけてください。

- **アクセスポイントのすぐ近くで接続操作をしていますか？**

➡ 両方の機器にすぐ手が届く距離で接続操作を行ってください。

69： 複数の無線 LAN 端末を検出したため、接続できませんでした。始めからやり直してください。

- **ほかのアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup）のPBC方式（プッシュボタン接続方式）で接続操作を行っています。**

➡ しばらく待ってから接続操作を行うか、PIN 方式（ピンコード接続方式）で接続操作を行ってください（p.41）。

91： その他のエラー

- **エラー 11～69以外の異常が発生しました。**

➡ カメラの電源スイッチを入れ直してください。

故障かな？と思ったら

「カメラやW-E1が故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラやW-E1をチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、別紙の修理お問合せ専用窓口にご相談ください。

インターフェースケーブルで接続した機器が使えない

- カメラにW-E1が入っているときは、カメラとコネクトステーション、パソコン、ワイヤレスファイルトランスミッター、プリンターなどを、ケーブルで接続して使用することはできません。W-E1をカメラから取り出してからケーブルで接続してください。

撮影や再生などの操作ができない

- 無線LAN接続中は、撮影や再生などの操作ができないことがあります。接続を終了してから操作を行ってください。

スマートフォンに再接続できない

- 同じカメラとスマートフォンの組み合わせでも、設定を変更したり、異なる設定を選んでいるときは、同じSSIDを選んでも再接続できなくなることがあります。そのときは、スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラとの接続設定を削除してから、接続設定をやり直してください。
- 接続設定をやり直すときに、Camera Connectを起動したままにしていると、接続できないことがあります。そのときは、Camera Connectを再起動してください。

無線機能での注意事項

無線機能使用時に「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」、「映像が滑らかに表示されない」などの現象が起きたときは、下記の例を参考にして対応してみてください。

接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラとの距離について

- 室内で使用する場合、アクセスポイントのアンテナはカメラを使用している部屋に設置してください。
- 接続先の機器、またはアクセスポイントのアンテナとカメラとの間に、人や遮蔽物が入らないようにしてください。
- カメラのグリップを手で覆うと、無線通信の速度が低下したり、無線通信が切断されることがあります。三脚に固定しての撮影をおすすめします。

近くにある電子機器について

下記の電子機器の影響で無線LANの通信速度が遅くなるときは、電子機器の使用をやめるか、機器から離れた場所で通信を行ってください。

- カメラのIEEE 802.11b/g/nは、2.4GHz帯の電波を使用して無線LANの通信を行っています。そのため、同じ周波数帯を使用するBluetooth機器や電子レンジ、コードレス電話機、マイク、スマートフォン、他のカメラなどを使うと無線LANの通信速度が遅くなります。

カメラを複数使うときの注意

- 1つのアクセスポイントに複数のカメラを接続するときは、カメラのIPアドレスが重複しないよう注意してください。
- 1つのアクセスポイントに複数のカメラを接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/g/n（2.4GHz帯）のアクセスポイントが複数あるときは、電波干渉を少なくするために、無線LANのチャンネルを、「1/6/11」、「2/7」、「3/8」というように4チャンネル分、間を開けてください。

セキュリティーについて

セキュリティーに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
  悪意ある第三者によって無線LANの電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
  悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、ネットワークのセキュリティーを確保するための仕組みや機能を使用することをおすすめします。

ネットワークの設定を確認する

Windowsの場合

Windowsの［**コマンドプロンプト**］を開き、ipconfig/allと入力して〈**Enter**〉キーを押します。

パソコンに割り当てられているIPアドレスのほかに、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーの情報が表示されます。

Mac OSの場合

Mac OS Xの［**ターミナル**］を開き、ifconfig -aと入力して〈**Return**〉キーを押します。［en0］項目［inet］の ***.***.***.*** がパソコンに割り当てられているIPアドレスです。

*［**ターミナル**］については、Mac OS Xのヘルプを参照してください。

なお、92ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

例）192.168.1.10

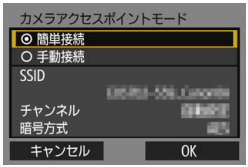
MEMO

10

資料

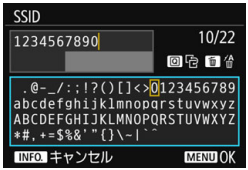
ネットワークを手動で設定する場合

カメラアクセスポイントモードのネットワーク設定を手動で行うことができます。表示される画面にしたがって［SSID］、［**チャンネル設定**］、［**暗号化の設定**］を設定することができます。



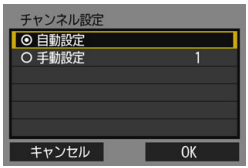
1 ［手動接続］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



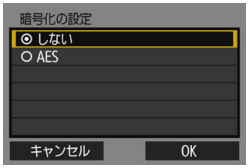
2 SSID（ネットワーク名）を入力する

- 仮想キーボード（p.15）で任意の文字列を入力します。
- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押します。



3 チャンネル設定を選ぶ

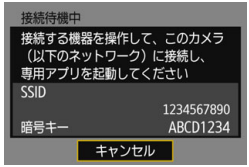
- 手動で設定するときは、［**手動設定**］を選び、〈⚙〉を回して設定します。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



4 暗号化の設定を選ぶ

- 暗号化するときは［AES］を選びます。
- ［OK］を選んで〈SET〉を押します。
- ［AES］を選んだときは、仮想キーボード（p.15）が表示されます。任意の暗号キーを8文字入力し、〈MENU〉ボタンを押して決定します。

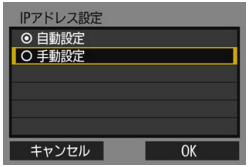
➡ 設定したSSIDや暗号キーが表示されます。



- これ以降の操作は『かんたん接続』（p.19）を参照してください。

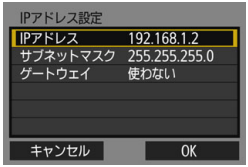
IPアドレスを手動で設定する場合

IPアドレス設定を手動で行います。なお、表示される項目はWi-Fi機能によって異なります。



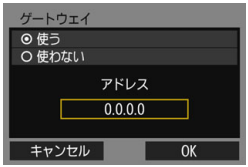
1 ［手動設定］を選ぶ

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



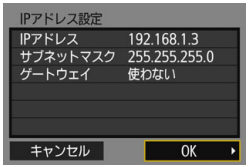
2 設定する項目を選ぶ

- 項目を選んで〈SET〉を押すと、数値の入力画面が表示されます。
- ゲートウェイを使う場合は、［**使う**］を選んでから［**アドレス**］を選び、〈SET〉を押します。



3 数値を入力する

- 〈⚙〉を回して上側の入力場所を選び、〈◎〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して手順2の画面に戻ります。



4 [OK] を選ぶ

- 必要な項目の設定が完了したら [OK] を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ Wi-Fi 機能に応じた設定画面が表示されます。
- 設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』（p.87）を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

主な仕様

■ 大きさ・質量

大きさ.....約24.0（幅）×32.0（高さ）×2.1（厚さ）mm
質量.....約2g

■ 動作環境

使用可能温度.....0℃～＋40℃
使用可能湿度.....85%以下

■ 無線通信

準拠規格.....IEEE 802.11b/g/n
伝送方式.....DS-SS変調方式（IEEE 802.11b）
OFDM変調方式（IEEE 802.11g/n）
通信距離.....約10m
* スマートフォンと通信時
* 送受信アンテナ間に障害物、遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合（一般的な環境では、映像の表示が遅れたり、映像が滑らかに表示されないことがあります。）

送信周波数（中心周波数）

周波数	チャンネル
2412～2462MHz	1～11ch

接続方法.....カメラアクセスポイントモード、インフラストラクチャー *
* Wi-Fi Protected Setup対応
セキュリティー.....認証方式：オープン、共有キー、WPA/WPA2-PSK
暗号化：WEP、TKIP、AES

■ Wi-Fi機能

スマートフォンと通信.....スマートフォンで画像の閲覧／操作／受信
スマートフォンでカメラをリモートコントロール
EOS Utilityでリモート操作.....EOS Utilityのリモートコントロール機能および画像閲覧機能を無線で実現

● 記載データはすべて当社試験基準によります。

商標について

- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupマークはWi-Fi Allianceの商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- UPnPは、UPnP Implementers Corporationの商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

索　引

英数字

Android 18

Camera Connect 18, 54

EOS Utility 27, 59

iOS 18

IPアドレス 39, 43, 48, 92

MACアドレス 36, 72

WPS（Wi-Fi Protected Setup）.... 37

　PBC方式 37

　PIN方式 41

あ

アクセスポイント 36

　暗号化 36

エラー表示の対応 76

か

画像閲覧 54

カメラアクセスポイントモード 50

キーボード 15

ケーブル 16

公開画像の設定 56

さ

再接続 63

初期化 71

ステルス機能 36

スマートフォンと通信 21, 53

接続設定 68

　確認 68

　削除 70

　登録 66

　変更 69

　名称変更 69

た

注意事項 85

トラブルシューティング 75

な

ニックネーム 13

は

ピンコード接続方式 41

プッシュボタン接続方式 37

ら

リモート操作 54, 59

わ

ワイファイ プロテクテッド

セットアップ 36

MEMO

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品情報や取り扱い方法に関するご相談窓口

製品に関する情報や、よくあるお問い合わせなどのサポート情報を掲載しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

EOSホームページ：canon.jp/eos

EOS・サポートナビ：canon.jp/eos-navi

電話でのお問い合わせは、以下へお願いします。

お客様相談センター（全国共通番号）
050-555-90002

受付時間：9：00 ～ 18：00
（1月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ おかけ間違いのないようにご注意ください。
※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

故障、不具合、破損の際は、弊社の修理お問合せ専用窓口または、お買い上げ販売店にご連絡ください。

CPA-J200-000
© CANON INC. 2016